


# 決定! ヤギフェス マスコットキャラクターの愛称は…



## やぎっち

「ヤギフェス 柳沢みんなの文化祭」オリジナルのマスコットキャラクターをつくらう」と令和元年度の実行委員会が公募し、来場者の投票によって決定したマスコットキャラクター。でも、名前がありませんでした。

そこで、今年度は愛称を決めることにしました。「やぎさわ ころろ」「ヤギ太郎」「ヤギちゃん」「やぎっち」「ヤッチー」の5つの候補の中から、来場したみなさんの投票により、「やぎっち」が選ばれました。これからみなさんが目にする機会もあると思います。ヤギフェス、そして、柳沢公民館のマスコットキャラクター「やぎっち」をどうぞよろしく!

電話での講座申し込みは、平日9時～17時をお願いします。

メールでの講座申し込み方法

アドレス: 1面上部参照  
件名: 講座名  
本文: 氏名(ふりがな)・電話番号・住所・年代  
※後日確認メールを送ります。届かない場合はお手数ですが、電話でお問い合わせください。

### 来館時・講座参加時のお願い

- ・自宅での事前検温、マスクの着用、入館時の手指消毒にご協力をお願いします。
- ・当日、平熱を超える発熱や体調不良がある場合は、来館をご遠慮ください。

## 柳沢 ムービールーム柳沢 「イエスタデイ」

(2019年/アメリカ/1時間57分)  
監督: ダニー・ボイル  
出演: ヒメーシュ・パテル  
リリー・ジェームズ ほか


ある日、売れないミュージシャンの男は交通事故に遭い、意識を失って病院に担ぎ込まれる。彼が目覚めると、そこはなぜか歴史上からビートルズの存在が完全に消えた世界になっていた。

時 2月9日(水) 14時～  
場 柳沢公民館  
対 市内在住・在勤・在学者  
定 50人(申込順)  
申 2月2日(水) 9時から電話で柳沢公民館へ

※座席と入場時間を指定します。原則として1人で複数の申し込みはできません。

### 市ホームページをご活用ください!

今月号に掲載の講座一覧は、市ホームページでもご覧いただけます。詳細情報やチラシを掲載している講座もありますので、ぜひご確認ください。



## 柳沢 共催事業

### イスに座って! やぎさわディスコ


障がいのある人もない人も一緒に楽しむイスに座ってのディスコに挑戦! 楽しみましょう!

入場無料!  
初めての方も大歓迎です。

時 2月20日(日) \*  
14時～15時15分  
(13時45分開場)  
※途中に休憩(換気・水分補給)あり

場 柳沢公民館  
定 15人(申込順)  
申 2月3日(木) 9時から電話で柳沢公民館へ  
※やぎさわディスコ実行委員会との共催

【やぎさわディスコ実行委員会とは】  
「障がいのある人もない人も一緒に楽しめる場を西東京市に」と願う市民が実行委員となり、企画運営しています。ご興味のある方は公民館にご連絡ください。




▲現在も田無唯一の水田がある東大農場(1975年6月)

遺体を弔った総持寺には、

市内5駅を順にたどり、駅周辺の特徴や昔の様子を紹介し、ちよこつと地域に気を留めて、日常の風景に新たな発見をしてみませんか。

昭和2年、西武新宿線は村山線として高田馬場～東村山間を開通、上保谷(現・東伏見)、西武柳沢、田無の各駅も開業しました。田無は江戸時代の青梅街道の宿場町としてきた町で、田無神社や総持寺のほか、市役所や公民館・図書館など多くの公

共施設があります。

▼田無町が誘致した東大農場  
田無駅から北へ600mほど歩くと、東大農場があります。市全体の約2%を占める広大な敷地です。大正4年に保谷駅が開業しましたが、田無には駅がなく、「文明から置き去りにされていた」と当時の新聞には書かれていた。当時の新聞には書かれていた。発展の遅れを取り戻すため、鉄道の誘致に向けての動きが活発になります。東大農場が田無にあるのは、駅開業に伴った町おこしとして、当時移転先が問題となっていた東大農場の農場を、武蔵野の自然が残る鉄道が通ることを条件に、町が積極的に誘致した結果といえます。現在も、都会にある貴重な実習地として、さまざまな研究・教育を行う場となっています。

## わが街をもっと知りたくて

### 市内ちよこつと駅さんぽ② 田無駅編

▼「東京大学原子核研究所」から「西東京いこいの森公園」へ  
昭和30年、東大農場の北側に東京大学原子核研究所・宇宙線研究所(核研)ができました。全国共同利用の研究所として、研究者が集い、当時世界最先端の機器を用いた研究成果が多く生まれました。平成13年に閉鎖、同年西東京市が誕生し、跡地を利用して市の合併記念公園「西東京いこいの森公園」が平成17年に開園しました。公園には「原子核研究所」と刻まれた石碑があり、パークセンターには核研で研究したノーベル賞の小柴昌俊さんの色紙が飾られています。

▼「田無駅前再開発事業」とアスタビル  
昭和30年頃から宅地開発と人口増加により、田無はベッドタウンへと変貌します。そして昭和42年、東京都16番目の市「田無市」が誕生しました。「田無駅前通商店街」には多くの店舗が並び、買い物客でにぎわいます。一方でこのような急激な変化に、まちの構造や機能が追い付



開発前のアスタビルの地に鎮座されていた平和観音像が移転し、現在も慰霊祭が行われています。北口ロータリーには記念碑と平和のリングがあります。「現在」上段は「過去」、中断は「未来」と3つの太さに別れていて、平和への願いをより確かなものと呼び掛け、考える場所となっています。



そこで、多くの知恵と商店の協力により、人や車のための広場や、防災・環境面を考えた再開発ビルなど、田無駅を市の表玄関と位置づけるため、昭和40年代に「田無駅前再開発事業」がスタートしました。平成7年に完成したビルは、市民の公募により「明日の素晴らしい街田無」から「アスタ」と命名され、「田無駅前通商店街」は「アスタ専門店街」としてビルに入りました。



かない状況がありました。バスや車、人が狭い道路にあふれ、危険な交通の混雑や、消防車が入れない防災上の問題もあり、駅前の再開発が不可欠となります。